人間尊重の常識人

今年の五月の連休、私のところに来るとの電話、私は「俺は鹿児島では西郷さんの次にえらい人、俺の側でたばこは吸うな」と一言。大喜びの私は、一時間前に空港に迎えに行った。待てど暮らせど出てこない。「あいつ、案の定、乗り遅れたな。俺は早起きし一時間も前に迎えにきたのに」とブンブン。諦めた時ニコニコ顔で「おい、今だった」「おまえ、なんだ」「うーん、今、トイレで最後のたばこを二本吸ってきたよ」

このあと、佐藤は長年吸ってきたタバコをきっぱりと止めた。

鹿児島での話

「おまえ、社長になり、両親が喜ばれたなあー」「うん、未だ教えてない。そうだな、喜ぶかなー？」算数が出来ない、しない男がここにもあった。

本人より周りがとても喜んでの就任

社長就任式には私も呼ばれ、会社仲間、会社の富山大学会、名古屋近辺の経済学部同級生と多くの人に祝ってもらえた。佐藤以上に嬉しかったのは私かも知れない。

そして、二人の縁は続く

「佐藤、早く辞めろよ。二人で、富山に行き、お前の大好きな豚足食べながらビールを飲もう。」

学部一六回　せづつ・すみひろ

路面電車サミットに　越嶺会員二人

小橋啓一氏（学部一二回）
服部重敬氏（学部二四回）

今年二〇〇七年八月二五日高岡商工ビルにて「第六回中部地区路面電車オープンサミット　発見！ＬＲＴとまちづくり」が開催されました。

中部地区と名付けてあるが、全国二五都府県、二四の市民団体から約百四十名の方の参加があったとのことです。

絵画愛好家の小橋さんは、富山市のライトレールや高岡市の万葉線などを入れて街の風景を描いている方。

服部さんは、「路面電車新時代」「都市と路面公共交通」等の路面電車再評価の教科書とされる著書がある人。

富山県には富山港線からＬＲＴ（ライトレールトランジット）に変わった愛称ポートラムや富山市内電車、高岡市の万葉線と、国内に十九しかない路面電車の内三つがあり、全国から注目されています。

事務局からのお知らせとお願い

一、越嶺会員が集まった会合の様子をお知らせください。

二、会合のお知らせ・予告も載せますので、ご連絡ください。ホームページも開設していますので、ご覧ください。「越嶺会」で検索できます。また、富山大学の「卒業生」から入ることもできます。